

【下痢発生状況】 (第66回 日本養豚学会発表)

酪農学園大学

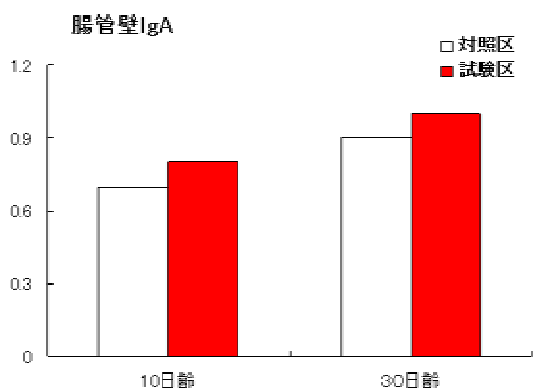
区分	供試頭数(頭)	下痢頭(頭)	発生率(%)	下痢日(日)	下痢スコア	最短日(日)	最長日(日)
対照区	6	3	50.0	4.3	4	2	3
試験区	6	2	33.3	1.5	4	1	2

腸内細菌叢の正常化により、下痢の発生をひくくしたり下痢が発生しても軽減できることも報告されました。体調が良い為増血の立ち上がりも早くなります。

【下痢発生率】

全期間を通してカルバック区が少なく、生菌区、対照区はあまり変わらない。

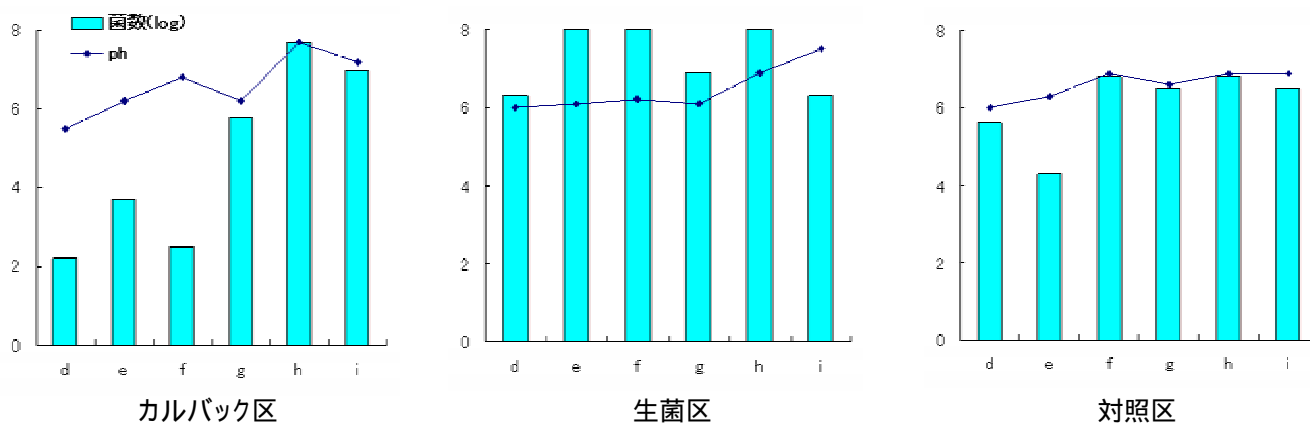
	前期		後期		全期間	
カルバック区	39日/318日	12.3%	2日/290日	0.7%	41日/608日	6.7%
生菌区	56日/318日	17.6%	2日/261日	0.8%	58日/579日	10.0%
対照区	54日/318日	17.3%	2日/261日	0.8%	56日/574日	9.6%



大腸菌群数の豚消化管内の比較(カルバック区、生菌区、対照区) 群馬県畜産試験場

ここではDHL寒天板発育グラム陰性桿菌とした(37 34Prs)

a:胃 b:十二指腸 c:空腸 d:回腸上部 e:回腸中部 f:回腸下部 g:盲腸 h:結腸 i:直腸



3区とも消化管を下るに従い菌数が増大してくるが、カルバック区は消化管上部での大腸菌増殖抑制持続力が他の2区に比較して強い。